

複数施設研究用

## 石綿健康被害救済制度に認定された肺がん患者に関する 院内がん登録を活用した調査

### 1. 研究の対象

全国のがん診療連携拠点病院をはじめとする専門施設等の院内がん登録を実施している施設のうち、院内がん登録データを国立がん研究センターへ提供した施設において、2015年に肺がんの診断を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

肺がんは日本で最も死亡数の多い悪性腫瘍の一つです。肺がんの発生要因の一つに石綿があります。石綿による健康被害の救済に関する法律に基づき、肺がん等の石綿による健康被害を受けられた方及びそのご遺族の方を救済する石綿健康被害救済制度(以下「救済制度」という。)が施行されていますが、特に石綿による肺がんに対する救済制度については医療現場でも十分に周知されていない現状があります。

今回の認定者患者情報調査では、救済制度の認定者の方(石綿による肺がんの方)と選出された肺がん患者さんの肺がんの組織型、問診時の情報を比較し、石綿による肺がんの方に見られる特徴の有無について把握することを目的に行います。この調査の結果は、肺がん患者さんを診療する医療現場に対してより効果的・効率的に救済制度について周知する方法を検討するために活用されます。

この研究の実施期間は、研究許可日より2019年5月までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、国立がん研究センターが行っている全国院内がん登録全国集計の為に集められた院内がん登録データのうち肺がんに関する情報を二次的に用います。このデータに含まれる情報は以下のものが挙げられます。病院の名称、患者ID番号(院内がん登録連番)、性別、生年月日、都道府県コード、原発部位《局在コード》、原発部位《テキスト》、病理診断《形態コード》、病理診断《テキスト》、診断根拠、診断日、来院経路、発見経緯、治療前後(臨床分類)

### 4. 外部への試料・情報の提供

使用する院内がん登録データは匿名化処理されており、対象者の方の個人情報が漏れることはありません。データは、国立がん研究センターの入室者が管理された領域に施錠のうえ保存され特定の関係者がアクセス出来ない状態で保管されます。

外部へのデータの提供は行いません。外部への研究成果の公表は、関係省庁および関係者

への報告書で行われます。報告に際しては、常に集団を記述する数値データのみの報告とし、個人が特定される可能性のある個別データの報告・公表は一切おこなわず、かつ個人が発表成果から同定できないように十分に配慮されます。

## 5. 研究組織

国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター	東 尚弘
国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部	富塚 太郎
国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部	仁科 有加
国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター	新野 真理子

[情報提供機関：既存情報の提供のみを行う機関]

救済制度の認定者の方（石綿肺がん患者さん）のうち本調査に参加同意をする方を確認したのち、情報提供機関が決定されます。情報提供機関が決定するごとに、研究計画書を更新し、調査事務局が国立がん研究センター研究審査委員会へ変更申請を行います。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター

東 尚弘（研究責任者）

新野 真理子

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 TEL 03-3542-2511（内線 1604）